BUFFALO

USB&IEEE1394 ハードディスク

DiU-GTH シリーズ

ユーザーズマニュアル

はじめに 7 **1**

セットアップ 9 **2**

使いかた 14 **3**

フォーマット 22 **4**

付録 34 **5**

Q&A インターネットで弊社製品のQ&A情報を入手できます。
http://buffalo.melcoinc.co.jp/qa/index.html

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク .... ⚠注意 に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク .... ↘次へ に続くページは、次にどこのページへ進めば良いかを記しています。

文中の用語表記

・Windows搭載パソコンの場合、本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。
C:ハードディスク
D:CD-ROMドライブ

・「IEEE1394」、「i.LINK」、「FireWire」は同じインターフェースです。本書では、「i.LINK」と「FireWire」を「IEEE1394」表記しています。

・文中[ ]で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。

・本書に記載されているハードディスク容量は、1GB＝1000³byteで計算しています。OSやアプリケーションでは、1GB＝1024³byteで計算されているため、表示される容量が異なります。

■ 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■ 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社インフォメーションセンターまでご連絡ください。

■ 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■ 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

■ 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■ 弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

■ 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

■保証書について

本製品には、保証書が添付されております。この保証書は、本製品の修理についての条件を定めた約款が記載されております。お客様が無償修理を要求する場合に必要となりますので、保証期間、製品名および製品シリアルNo.が記載されていることをご確認のうえ、大切に保管してください。

■ ユーザー登録について

ユーザー登録はがきに必要事項を記入して郵送して頂ければ、弊社製品のユーザーとしてご登録いたします。

※ 本製品に対するサポートやバージョンアップなどのサービスは、ユーザー登録されている方でなければ受けられません。
※ ユーザー登録後に製品を譲渡した場合でも、ユーザー登録は変更できません。

■ 修理について

製品をお送りいただく前に、マニュアルを参照して設定や接続が正しいかを再度ご確認ください。正しく接続や設定をしても改善されない場合は、修理票と保証書の原本に必要事項をご記入の上、製品と一緒にお送りください。修理票は、弊社ホームページ(本書裏表紙参照)にてダウンロード可能です。修理票の添付が困難な場合は、以下の事項をお調べになった資料と保証書の原本を添付して製品をお送りください。

① 返送先 [氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号]
② 平日昼間の連絡先
[氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号]
③ 修理対象のメルコ製品名
④ 弊社製品ハードウェア シリアルナンバー
⑤ 弊社製品ソフトウェア シリアルナンバー
⑥ 具体的な症状/エラーメッセージ
⑦ 発生状況 [始めから/ある日突然/環境を変えたら]
⑧ 発生頻度 [必ず/頻繁/時々/時間が経つと、他]
⑨ コンピュータ [本体メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑩ ハードディスク [メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑪ ディスプレイ [メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑫ その他周辺機器 [メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑬ OS(オペレーティング・システム)
[ソフト名/メーカ名/バージョン]
⑭ 製品以外の添付品 [付属ソフトなど]

製品送付先	〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15 株式会社メルコ 修理センター宛
電話番号	052-619-1289

※ ご依頼いただいた修理品以外に関するお問い合わせは承っておりません。製品に関するお問い合わせはインフォメーションセンター(裏表紙に記載)へお願いします。
※ 宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。郵送は固くお断りいたします。
※ 送料は送り主様のご負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故に関しては、弊社は責任を負いかねますので、輸送会社に別途保証をしていただくなどの措置を取ってください。
※ 修理にお送りいただく際に、弊社への事前連絡は不要です。
※ ハードディスクなどの記憶装置をお送りいただいた場合、その記憶装置はフォーマット致します。また、記憶装置を修理する場合は、データが記憶されているディスク部分を交換することがございます。お送りいただく際、必要なデータは必ず事前にバックアップを作成しておいてください。
※ 修理期間は、製品の到着後7日程度(弊社営業日数)を予定しております。

本製品について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

受信障害について

ラジオやテレビジョン受信機(以下、テレビ)などの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチをいったん切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、以後は次の方法を組み合わせて受信障害を防止してください。

- 本機と、ラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる
- 本機と、ラジオやテレビ双方の距離を離してみる
- この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる

DiU-GTHシリーズ ユーザーズマニュアル

2001年5月31日 初版発行
発行　　株式会社メルコ

弊社製品の情報は次の方法で入手できます

インターネット

http://www.melcoinc.co.jp/

製品サポート

インフォメーションセンター

〒457-8520　名古屋市南区柴田本通4-15　株式会社メルコ ハイテクセンター内

本製品のサポートは下記で承っております。

ストレージ製品専用ダイヤル

＜東　京＞ 03-5350-7990

月～金 9:30～12:00/13:00～19:00　※祝日を除く
土/祝 9:30～12:00/13:00～17:00　※年末年始と日曜日を除く

＜名古屋＞ 052-619-1188

月～金 9:30～17:00　※祝日を除く

※ 事前にメモとペンを用意し、次の事項を確認しておいてください。
- ・コンピュータ名と使用OS
- ・本製品の製品名とシリアルナンバー
- ・現象（具体的なエラーメッセージなど）

※ 受付時間や電話番号などは、変更されることがあります。最新の内容は弊社ホームページでご確認ください。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

■使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△	△は、警告・注意を促す記号です。△の近くに具体的な警告内容（例：⚠ 感電注意)が描かれています。
⃠	○に斜線は、してはいけない事項（禁止事項）を示す記号です。 ○の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。（例：⃠ 分解禁止）
●	●は、しなければならない行為を示す記号です。 ●の近くに、具体的な指示内容（例：● プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告

電源プラグを抜く

本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ったら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電したりする恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止

風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。

火災になったり、感電、故障する恐れがあります。

分解禁止

本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。

火災・感電・故障の恐れがあります。また、本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

電源プラグを抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電したりする恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合は、すぐに電源スイッチをOFFにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

本製品は精密機器です。衝撃を与えないように慎重に取り扱ってください。衝撃は本製品の故障の原因となります。

禁止

AC100V(50/60Hz)以外のコンセントには、絶対に電源プラグを差し込まないでください。

海外などで異なる電圧で使用するとショートしたり、発煙や火災の恐れがあります。

禁止

濡れた手で本製品に触れないでください。

パソコンおよび周辺機器の電源プラグがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても故障の原因となります。

禁止

電源コードを傷つけたり、加工、加熱、修復しないでください。火災になったり、感電する恐れがあり、本製品の故障の原因ともなります。

・設置時に、電源コードを壁やラック（棚）などの間にはさみ込んだりしないでください。
・重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
・熱器具を近付けたり、加熱したりしないでください。
・電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
・極端に折り曲げないでください。
・電源コードを接続したまま、機器を移動しないでください。

万一、電源コードが傷んだら、弊社インフォメーションセンターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。

強制

小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

強制

電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。

さわってけがをする恐れがあります。

強制

本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカおよび周辺機器メーカが提示する警告や注意指示に従ってください。

強制

ACアダプタ、USBケーブル、IEEE1394ケーブルは必ず本製品付属のものをご使用ください。

本製品付属以外のACアダプタ、USBケーブル、IEEE1394ケーブルをご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙、発火の恐れがあります。本製品の故障の原因ともなります。

強制

電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。
差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

⚠ 注意

禁止

ハードディスク、MO、フロッピーディスクドライブなどのデータの格納用機器へのアクセス中は、パソコンや機器の電源をOFFにしたり、リセットしたりしないでください。

データを消失、破損する恐れがあります。バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制

各接続コネクタのチリやほこり等は、取りのぞいてください。
各接続コネクタには手を触れないでください　。

故障の原因となります。

禁止

本製品の上に物を置かないでください。

傷がついたり、故障の原因となります。

禁止

通風口をふさいだり、他の機器と密着させないでください。

故障の原因となります。

禁止

アクセスランプが点灯している間は、電源スイッチをOFFにしたり、システムをリセットしたりしないでください。

禁止

シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。

本製品のよごれは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

強制

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。

人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させる恐れがあります。

強制

パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各マニュアルをよく読んで、各メーカの定める手順に従ってください。

強制

電源スイッチのON/OFFは、少なくとも数秒の間隔をあけて行ってください。

本製品の故障、データの消失、破損の恐れがあります。

強 制

ハードディスク内のデータは、必ず他のメディア（フロッピーディスク、MOディスク等）にバックアップしてください。

とくに、修復、再現できない重要なデータは、オリジナルの更新前、更新後と、常に二重のバックアップを作成されることをおすすめします。次のような場合に、データが消失、破損する恐れがあります。

・誤った使い方をしたとき
・静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
・故障、修理などのとき
・パソコンの電源スイッチをOFFにした直後に、すぐに電源スイッチをONにしたとき
・天災による被害を受けたとき

上記の場合に限らずバックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強 制

本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のデータをすべてMOディスク、フロッピーディスク等にバックアップしてください。

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、
バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。
バックアップの作成を怠ったためにデータを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

禁 止

次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

・強い磁界や静電気が発生するところ
・直射日光が当たるところ
・ほこりの多いところ
・温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
・振動が発生するところ　→けが、故障、破損の原因となります。
・平らでないところ　→転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
・火気の周辺、または熱気のこもるところ
　→故障や変形の原因となります。
・漏電または漏水の危険があるところ
　→故障や感電の原因となります。

強 制

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

目 次

1 はじめに 7

特徴 7
各部の名称 7
電源のON/OFF（PC連動AUTO電源機能） 8

2 セットアップ 9

セットアップのながれ 9
Windows搭載パソコンでのセットアップ手順 10
Macintoshでのセットアップ手順 12

3 使いかた 14

使用上の注意 14
USB機器の増設 15
IEEE1394機器の増設 16
本製品を積み重ねる場合 17
ハードディスクの取り外しかた（USB接続時） 18
- WindowsMe/98 18
- Windows2000 18
- Macintosh 19

ハードディスクの取り外しかた（IEEE1394接続時） 20
- WindowsMe 20
- Windows98 20
- Windows2000 21
- Macintosh 21

4 フォーマット 22

フォーマットするときの注意 22
フォーマットのしかた 22
WindowsMe/98 22
Windows2000 23
Macintosh 28

5 付録 34

バックアップ 34
バックアップの必要性 34
バックアップ用のメディア 34
バックアップデータの復元（リストア） 34
メンテナンス 35
ハードディスクのエラーチェック（スキャンディスク） 35
ハードディスクの最適化（デフラグ） 35
特定のソフトウェアが使用できない場合 35
Disk Formatterのアンインストール（WindowsMe/98） 36
Macintosh用USBドライバのアンインストール 36
仕様 37

1 はじめに

ハードディスクを使用する前に知っておいていただきたいことを説明しています。

特徴

● USB、IEEE1394に両対応

パソコンに付いているUSBポートとIEEE1394コネクタのどちらにでも接続が可能です。

※ USBとIEEE1394のケーブルを、同時に接続することはできません。

● USBハブ機能を搭載

本製品はUSBハブ機能を内蔵し、背面にHUBポート(USBコネクタ シリーズA)を搭載しています。USBハブを別途用意しなくても、USB機器を増設できます。

● ホットプラグに対応

本製品やパソコンの電源が入った状態でも、ケーブルを抜き差しして自由につなぎ替えられます。

※ ただし、ケーブルを抜く際は、必ず定められた手順に従って作業してください。【P18、20「ハードディスクの取り外しかた」】

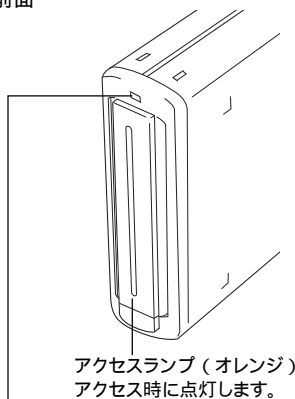
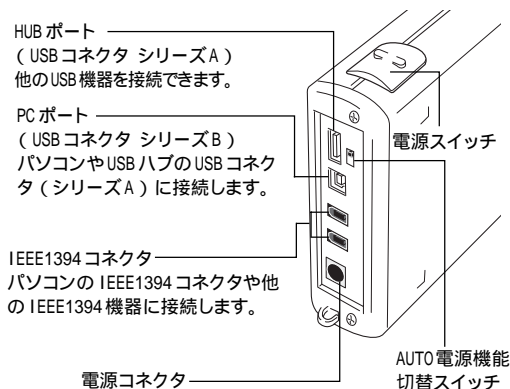
● PC連動AUTO電源機能を搭載

パソコンの電源のON/OFFに合わせて、本製品の電源も自動的にON/OFFされます。

※ 本製品の電源は、手動でON/OFFすることもできます。

● 本製品は起動用ハードディスクとしては使用できません（OSを起動できません）。あらかじめご了承ください。

各部の名称

● 前面

● 背面

付属品の確認は別紙の「はじめにお読みください」を参照してください。

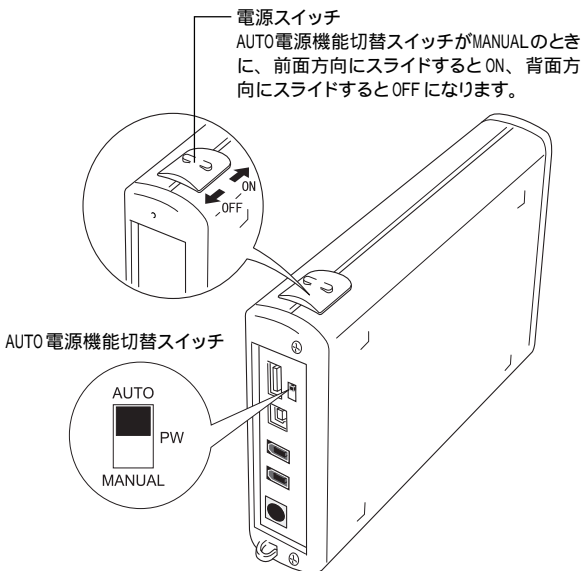
電源のON/OFF（PC連動AUTO電源機能）

本製品は、出荷時にPC連動AUTO電源機能が有効になっています。パソコンの電源に合わせて、本製品の電源は自動的にON/OFFされます。

また、電源のON/OFFを手動で行うこともできます。その場合は、背面にあるスイッチを使って、PC連動AUTO電源機能を無効にする必要があります。

電源スイッチ
AUTO電源機能切替スイッチがMANUALのときに、前面方向にスライドするとON、背面方向にスライドするとOFFになります。

ON
OFF

AUTO電源機能切替スイッチ

AUTO
PW
MANUAL

AUTO:
PC連動AUTO電源機能が有効になります。電源スイッチを操作しても、電源のON/OFFは行われません。（出荷時設定）

MANUAL:
PC連動AUTO電源機能が無効になります。電源スイッチの操作により、電源のON/OFFを手動で行うことができます。

⚠注意 **必ず付属のACアダプタを本製品に接続して使用してください。USBまたはIEEE1394シリアルバスからの電源供給だけでは本製品を使用できません。**

⚠注意 **PC連動AUTO電源機能を有効にしている場合**

- **パソコンの電源をOFFにしてから本製品のパワーランプが消灯するまでに、少し時間がかかることがあります。**
- **ACアダプタ付きのUSBハブに本製品を接続した場合、パソコンの電源をOFFにしても、本製品の電源はOFFになりません。この場合は、USBハブの電源をOFFにするか、USBハブから本製品を取り外してください。**
- **他のIEEE1394機器と本製品を同時に使用する場合、パソコンの電源をOFFにしても、本製品の電源はOFFになりません。この場合は、他のIEEE1394機器または本製品を取り外すか、上記切替スイッチを「MANUAL」にし、手動で電源をOFFにしてください。。**
- **Macintoshの一部の機種に本製品をIEEE1394ケーブルで接続する場合、PC連動AUTO電源機能が正常に動作しないことがあります。その場合は、上記切替スイッチを「MANUAL」にし、手動で電源スイッチをON/OFFしてください。**

2 セットアップ

ハードディスクのセットアップ手順を説明しています。

セットアップのながれ

ハードディスクのセットアップ手順は次のとおりです。

詳しい手順は、別紙「はじめにお読みください」を参照してください。

Windows搭載パソコン

ハードディスクの電源コネクタにACアダプタを接続し、ACアダプタをコンセントに接続する

▼

パソコンの電源スイッチをONにする

▼

付属のCD-ROM「DiU-GTHシリーズユーティリティCD」をCD-ROMドライブにセットする

▼

「簡単セットアップ」が起動したら、画面の指示に従って操作する

▼

Macintosh

ハードディスクの電源コネクタにACアダプタを接続し、ACアダプタをコンセントに接続する

▼

パソコンの電源スイッチをONにする

▼

ドライバをインストールする【P12】

▼

USBケーブルまたはIEEE1394ケーブルで、ハードディスクをパソコンに接続する

▼

- WindowsMe/98を使用している場合 ... Disk Formatterでハードディスクをフォーマットする【P22】
- Windows2000を使用している場合 .... OSのフォーマット機能でハードディスクをフォーマットする【P23】
- Macintoshを使用している場合 ...... USB Storage Utility または Disk Drive TuneUP-SEでハードディスクをフォーマットする【P28】

※ ハードディスクは、物理フォーマットだけが行われた状態で出荷されています。使用する前に必ず論理フォーマットしてください。

Windows搭載パソコンでのセットアップ手順

付属のユーティリティ「簡単セットアップ」の指示に従ってセットアップを行います。詳しい手順は、別紙「はじめにお読みください」を参照してください。

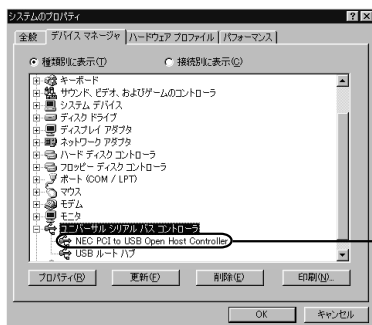
● PC98-NXシリーズを使用しているときは、CyberTrio-NXが「アドバンストモード」になっていることを確認してください。
アドバンストモードになっていないと、本製品のドライバをインストールできないことがあります。次の手順でアドバンストモードに変更してください。

・モードの確認方法
タスクバーに表示されているCyberTrio-NXのインジケータ の色で確認できます。

赤	アドバンストモード	設定を変更する必要はありません。
黄	ベーシックモード	アドバンストモードに設定を変更してください。
緑	キッズモード／カスタムモード	アドバンストモードに設定を変更してください。

・「CyberTrio-NX」のモードの変更方法
再起動後もアドバンストモードになるように設定を変更します。詳しい手順はパソコン本体のマニュアルを参照してください。
① [スタート]－[プログラム(P)]－[CyberTrio-NX]－[Go To アドバンストモード]の順に選択します。アドバンストモードに切り替わります。
② [スタート]－[プログラム(P)]－[CyberTrio-NX]－[CyberTrio-NX セットアップ]の順に選択します。
③ [CyberTrio-NXのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。[アドバンストモード]を選択して[OK]ボタンをクリックします。

以上でアドバンストモードに設定されました。
本製品のドライバをインストールした後は、アドバンストモード以外のモードも使用できます。任意のモードに変更してください。

● Windows98(Second Editionを除く)で本製品をUSB接続して使用するときは、次の確認を行ってください。
① [マイコンピュータ]アイコンを右クリックします。
②メニューが表示されたら、[プロパティ(R)]をクリックします。
③ [デバイスマネージャ]タブをクリックします。
④ [ユニバーサルシリアル バス コントローラ]の下に表示されているデバイス名を確認します。

[NEC PCI to USB Open Host Controller]と表示されている場合は、Windows98サービスパック1をインストールする必要があります。その他のデバイス名が表示されている場合は、サービスパックのインストールは不要です。

※ Windows98サービスパック1は、マイクロソフト社のホームページ(http://www.microsoft.com/japan/)からダウンロードできます。

● Windows2000を使用している場合、セットアップ中に［新しいハードウェアの検出ウィザード］が表示されることがあります。この場合は、ウィザード画面の［完了］ボタンをクリックしてください。
「このデバイス用のソフトウェアはインストールされましたが、正しく動作しない可能性があります。」と表示されますが、本製品は正常に動作します。

メモ 本製品のドライバがインストールされると、［デバイス マネージャ］（※1）に次のデバイスが追加されます。

• USB接続の場合

使用OS	追加場所	追加デバイス名
WindowsMe/98	ディスクドライブ	ドライブユニット名
	ハードディスクコントローラ	MELCO USB-ATA/ATAPI Mass Storage Controller
	ユニバーサル シリアル バス コントローラ	MELCO USB-ATA/ATAPI Bridge Controller
		汎用 USB ハブ（※2）
Windows2000	ディスクドライブ	ドライブユニット名
	USB(Universal Serial Bus) コントローラ	MELCO USB-ATA/ATAPI Bridge Controller
		汎用 USB ハブ

• IEEE1394接続の場合

使用OS	追加場所	追加デバイス名
WindowsMe/98	ディスクドライブ	ドライブユニット名
	SBP2	SBP2 Compliant IEEE1394 デバイス
	記憶装置	IEEE1394ディスク
Windows2000	ディスクドライブ	MELCO INC 1394MEL-HD DRIVE IEEE 1394 SBP2 Device

※1 ［デバイス マネージャ］は次の方法で表示できます。
WindowsMe/98 ……. ［マイ コンピュータ］アイコンを右クリック→［プロパティ(R)］をクリック→［デバイス マネージャ］をクリック
Windows2000 …….. ［マイ コンピュータ］アイコンを右クリック→［管理(G)］をクリック→［デバイス マネージャ］をクリック

※2 WindowsMeの場合、緑色の○に白地で「?」と表示されます。これは、WindowsMe付属の汎用ドライバがインストールされたためです。本製品は正常に動作していますので、そのまま使用してください。

次へ ハードディスクをフォーマットします。【P22「フォーマットのしかた」】

注意 ハードディスクは出荷時に物理フォーマットだけが行われた状態で出荷されています。使用する前に必ず論理フォーマットを行ってください。

2 セットアップ

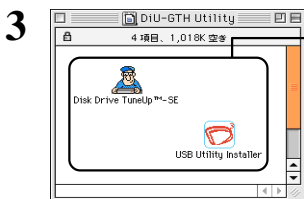
Macintoshでのセットアップ手順

本製品を使用するためにに必要なソフトウェアをインストールし、パソコンにハードディスクを接続します。

⚠注意
- **本製品をパソコンに接続する前に、付属のCD-ROM「DiU-GTHシリーズユーティリティCD」を使って、付属のソフトウェアを必ずインストールしてください。**
- **付属のソフトウェアをインストールする前に、起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。**
- **別紙「はじめにお読みください」を参照して、あらかじめハードディスクに縦置き用スタンド(またはゴム足)、イルミネーションパーツ、ACアダプタを取り付けておいてください。**

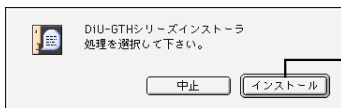
1 パソコンの電源スイッチをONにします。

2 付属のCD-ROM「DiU-GTHシリーズユーティリティCD」をCD-ROMドライブにセットします。

3

USBケーブルで本製品を接続する場合：
[USB Utility Installer] アイコンをダブルクリックします。

IEEE1394ケーブルで本製品を接続する場合：
[Disk Drive TuneUp™-SE]アイコンをダブルクリックします。

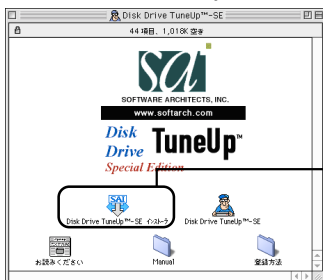
メモ
- **USB UtilityはUSB接続時に必要なユーティリティです。Disk Drive TuneUp-SEはIEEE1394接続時に必要なユーティリティです。**
- **USBケーブルでもIEEE1394ケーブルでも接続したい場合は、USB UtilityとDisk Drive TuneUp-SEの両方をインストールしてください。**
  ただし、USBケーブルとIEEE1394ケーブルを両方同時に接続することはできません。必ずどちらか一方のケーブルで接続してください。

[USB Utility Installer] アイコンをダブルクリックした場合

次の画面が表示されます。

[インストール] ボタンをクリックします。

以後は、画面の指示に従ってインストールしてください。

[Disk Drive TuneUp™-SE Installer] アイコンをダブルクリックした場合

次の画面が表示されます。

[Disk Drive TuneUp™-SE インストーラ] アイコンをダブルクリックします。

以後は、画面の指示に従ってインストールしてください。

4 付属のUSBケーブルまたはIEEE1394ケーブルで、ハードディスクとパソコンを接続します。

USBとIEEE1394のコネクタには、それぞれ2種類のコネクタがあります。形状をよく確認して接続してください。

<USBケーブルのコネクタ形状>

シリーズA
（パソコン側に接続）

シリーズB
（ハードディスクに接続）

<IEEE1394ケーブルのコネクタ形状>

4 ピン

6 ピン

※ USBケーブルで接続するときは、PCポートに接続してください。

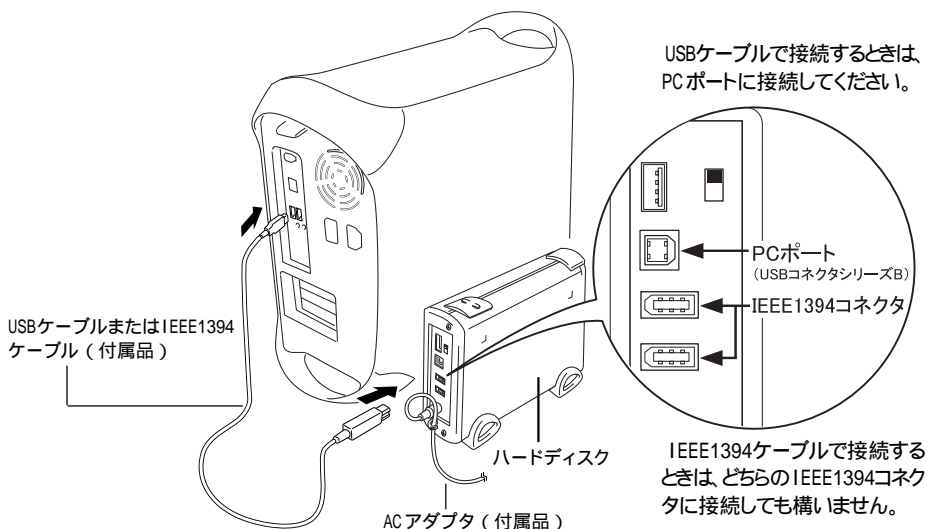
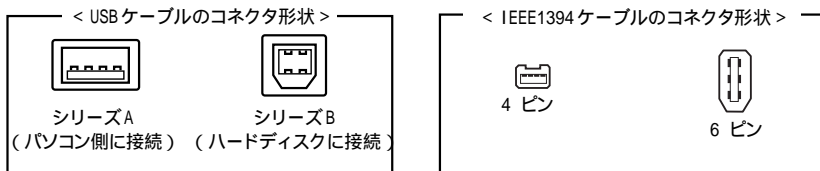
PCポート
（USBコネクタシリーズB）

IEEE1394コネクタ

USBケーブルまたはIEEE1394ケーブル（付属品）

ハードディスク

ACアダプタ（付属品）

※ IEEE1394ケーブルで接続するときは、どちらのIEEE1394コネクタに接続しても構いません。

以上でハードディスクの接続は完了です。

次へ ハードディスクをフォーマットします。【P22「フォーマットのしかた」】

注意 **ハードディスクは出荷時に物理フォーマットだけが行われた状態で出荷されています。使用する前に必ず論理フォーマットを行ってください。**

3 使いかた

使用上の注意について説明しています。

使用上の注意

⚠注意
- **本製品に仮想メモリを割り当てないでください。本製品を取り外した際に、ハードディスク内のデータが破壊されるおそれがあります。**
- **本製品のアクセスランプが点灯または点滅しているときは、絶対にUSBケーブル、IEEE1394ケーブルやACアダプタを抜いたり、パソコンの電源スイッチをOFFにしたりしないでください。データが破損するおそれがあります。**
- **パソコン本体の省電力モード（スタンバイ、休止状態、スリープなど）は無効にしてください。データが破損したり、省電力モードから復帰できないことがあります。**

● 本製品を使用する前に必ずフォーマット（初期化）してください。【P22】

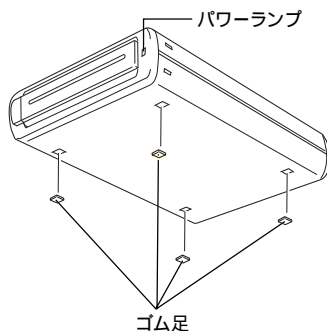
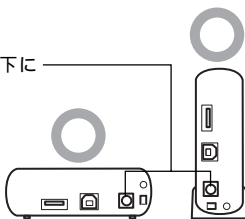
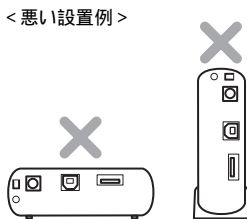
● 本製品はホットプラグに対応しています。
本製品やパソコンの電源スイッチがONのときでもUSBケーブルを抜き差しできます。ただし、必ず定められた手順に従って取り外してください。【P18、20「ハードディスクの取り外しかた」】

⚠注意 ハードディスクにアクセスしているとき（アクセスランプが点灯しているとき）は、絶対にUSBケーブルを抜かないでください。ハードディスク内のデータが破損するおそれがあります。

● パソコン本体と周辺機器のマニュアルも必ず参照してください。

● 本製品からOSを起動することはできません。

● 本製品を横置きにする場合
付属のゴム足（4個）を本製品の底面のくぼみに貼り付けてください。
ゴム足には両面テープが付いています。

⚠注意
- **ゴム足を付けるとスタンドが取り付けられなくなるため、本製品を縦置きできなくなります。**
- **右図のとおりにゴム足を取り付けてください。**

● 本製品は次のように設置してください（図は背面から見たところです）。

⚠注意 動作中にハードディスクを移動させたり、設置方向を変えないでください。ハードディスクの破損の原因となります。

● WindowsMe/98付属のドライブスペース3は使用しないでください。
パソコンの動作が不安定になるおそれがあります。

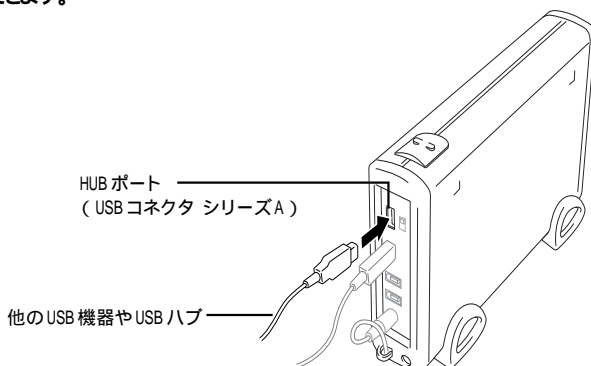
● Macintoshでリカバリするときは、本製品を取り外してください。
取り外さないとリカバリできません。

● Macintoshに付属のDisk Drive TuneUp-SEをインストールすると、MacOS起動時に アイコンが表示されることがあります。これは、パソコンにSCSI機器を1台も接続していないときに表示されるアイコンです。本製品の動作には問題ありません。

● ハードディスクの動作時、特に起動時やアクセス時などに音がすることがありますが、問題ありません。

USB機器の増設

本製品はUSBハブを内蔵し、HUBポート(USBコネクタ シリーズA)を搭載しています。HUBポートには、他の機器を接続して使用できます。

HUBポート
(USBコネクタ シリーズA)

他のUSB機器やUSBハブ

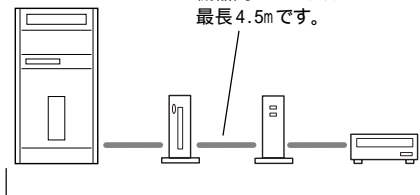
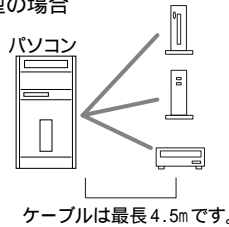
⚠注意
- 本製品に接続したUSB機器やUSBハブは、本製品の電源がONになっていないと使用できません。
- 本製品をIEEE1394ケーブルで接続した場合、USB機器を本製品に接続することはできません。
- Apple社製PowerMac G4 Cubeに付属しているUSBスピーカは、本製品のHUBポートには接続しないでください。必ずパソコン本体のUSBコネクタに接続してください。
- 複数のUSBハブをカスケード接続すれば、最大127台まで(USBハブを含む)USB機器を接続できます。カスケードの段数は最大5段です。
- 本製品はUSBハブ機能を搭載していますので、カスケード接続をする場合は本製品もUSBハブとして数えてください。

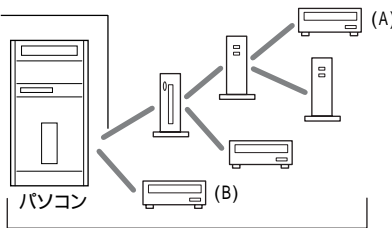
IEEE1394機器の増設

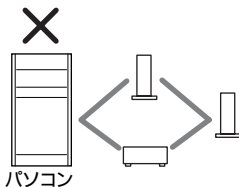
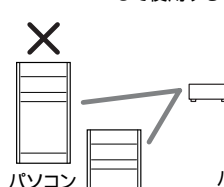
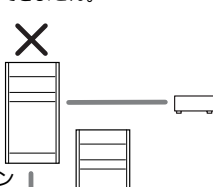
次の図のように接続してください。

⚠注意 ・4ピン（パソコン）←→6ピン（本製品）で接続している場合は、本製品のACアダプタを取り外すと、本製品以降に接続している機器が使用できなくなります。

・本製品をUSBケーブルで接続した場合、IEEE1394機器を本製品に接続することはできません。

● デイジーチェーンの場合

● スター型の場合

● ツリー型の場合

※終端から終端の機器の間に使用できるケーブル数は最大16本（16ホップ）です。
左図の例での終端は(A)と(B)となり、その間のケーブル数は①～④の4本（4ホップ）となります。

⚠注意 次のような接続はできません。

メモ Windows98の場合、新しくIEEE1394機器を接続したときに次の画面が表示されることがあります。その場合は、Windows98 Second Edition CD-ROMをCD-ROMドライブにセットして［OK］ボタンをクリックしてください。IEEE1394ドライバがインストールされます。

「Windows98 Second Edition CD-ROM上の（中略）が見つかりませんでした。」と表示されたときは、［ファイルのコピー元(C):］にE:\WIN98と入力し、［OK］ボタンをクリックします。（下線部にはCD-ROMドライブのドライブ名を入力します。）

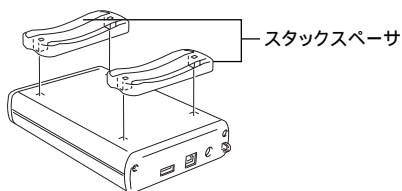
すでにIEEE1394ドライバがインストール済みのときは、以前インストールしたドライバを使用します。［はい(Y)］ボタンを数回クリックしてください。

本製品を積み重ねる場合

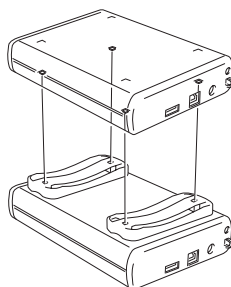
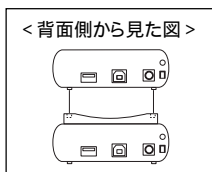
付属のスタックスペーサを使用して、横置きにした本製品を合計 3 台まで積み重ねることができます。

⚠注意 合計4台以上積み重ねないでください。積み重ねた本製品が倒れやすくなります。倒れた場合、衝撃により故障する恐れがあります。

1 本製品すべてに、ゴム足（4個）を取り付けます。【別紙「はじめにお読みください」参照】

2 本製品上面のくぼみに合わせて、スタックスペーサ（2個）を載せます。

スタックスペーサ

3 上に重なる本製品のゴム足をスタックスペーサのくぼみに合わせて載せます。

<背面側から見た図>

メモ 積み重ね可能な弊社製品は次の通りです。

DiF-GT，DiU-GTH，DSC-GT，DSU-GTH，DUB-GT/GTH，DUB2-GT，MOiF，MOiU，MOS-S640R

※ MOU-R/RHは積み重ねられません。

3

使いかた

ハードディスクの取り外しかた（USB接続時）

本製品をUSBケーブルで接続している場合、パソコンの電源スイッチがONのときは、次の手順でハードディスクを取り外します。

メモ　パソコンの電源スイッチがOFFのときには、そのまま取り外せます。

WindowsMe/98

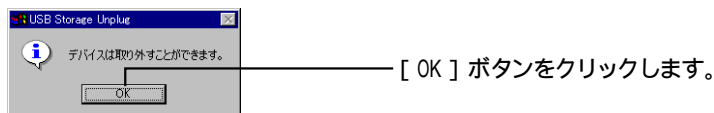
注意
- 必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずにハードディスクを取り外すと、エラーメッセージが表示されます。
- 本製品にアクセスしているときは、本製品を取り外さないでください。故障の原因となります。

1 タスクバーのステータス表示領域に表示されているアイコン をクリックします。

2 [MELCO USB-ATA/ATAPI Mass Strage Controllerの取り外し］をクリックします。

MELCO USB-ATA/ATAPI Mass Storage Controllerの取り外し
10:52

3 ［OK］ボタンをクリックします。

USB Storage Unplug
デバイスは取り外すことができます。
OK

4 ハードディスクを取り外します。

Windows2000

注意
- 必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずにハードディスクを取り外すと、エラーメッセージが表示されます。
- 本製品にアクセスしているときは、本製品を取り外さないでください。故障の原因となります。

1 タスクバーのステータス表示領域に表示されているアイコン をクリックします。

2 メニューが表示されたら、[USB/IEEE1394-IDE Bridge を停止します]をクリックします。

USB/IEEE1394-IDE Bridge を停止します
22:16

3 [OK] ボタンをクリックします。

ハードウェアの取り外し
'USB/IEEE1394-IDE Bridge' は安全に取り外すことができます。
OK

4 **ハードディスクを取り外します。**

Macintosh

1 **ハードディスク（本製品）のアクセスランプが消えていることを確認し、デスクトップにあるハードディスク（本製品）のアイコンをゴミ箱にドラッグアンドドロップします。**

⚠注意 本製品に複数のパーティションを作成した場合は、すべてのパーティションのアイコンを、ゴミ箱にドラッグアンドドロップしてください。

2 **ハードディスクを取り外します。**

3 使いかた

ハードディスクの取り外しかた（IEEE1394接続時）

本製品をIEEE1394ケーブルで接続している場合、パソコンの電源スイッチがONのときは、次の手順でハードディスクを取り外します。

メモ **パソコンの電源スイッチがOFFのときには、そのまま取り外せます。**

WindowsMe

注意
- **必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずにハードディスクを取り外すと、エラーメッセージが表示されます。**
- **本製品にアクセスしているときは、本製品を取り外さないでください。故障の原因となります。**

1 タスクバーのステータス表示領域に表示されているアイコン をクリックします。

2 メニューが表示されたら[IEEE1394ディスクードライブ(X:)の停止]をクリックします。

下線部には、ハードディスクに割り当てられたドライブ名が表示されます。

IEEE 1394 ディスク - ドライブ(I:)の停止　23:06

ハードディスクに割り当てられているドライブ名が表示されます。

3

ハードウェアの取り外し
'IEEE 1394 ディスク' は安全に取り外すことができます。
OK

［OK］ボタンをクリックします。

4 ハードディスクを取り外します。

Windows98

注意
- **必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずにハードディスクを取り外すと、エラーメッセージが表示されます。**
- **本製品にアクセスしているときは、本製品を取り外さないでください。故障の原因となります。**

1 タスクバーのステータス表示領域に表示されているアイコン をクリックします。

2 メニューが表示されたら[Stop 1394/USBディスクードライブ(X:)]をクリックします。

下線部には、ハードディスクに割り当てられたドライブ名が表示されます。

Stop 1394/USB ディスク - Drive(:)　10:56

ハードディスクに割り当てられているドライブ名が表示されます。

3 ［OK］ボタンをクリックします。

安全なハードウェアの取り外し
'1394/USB ディスク : ' デバイスをコンピュータから取り外しても安全です。
OK

4 ハードディスクを取り外します。

⚠注意 IEEE1394機器（本製品を含む）は、必ず終端に接続したものから取り外してください。終端ではない機器を取り外すと、次の警告画面が表示されます。

Unsafe Removal of Device
You have unplugged or ejected a device without stopping it.
Unplugging or ejecting devices without first stopping them can often cause your computer to crash and lose valuable data.
Please use the hotplug icon in the status bar to safely remove devices before unplugging them.
OK

Windows2000

⚠注意
- **必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずにハードディスクを取り外すと、エラーメッセージが表示されます。**
- **本製品にアクセスしているときは、本製品を取り外さないでください。故障の原因となります。**

1 タスクバーのステータス表示領域に表示されているアイコン をクリックします。

2 メニューが表示されたら、[MELCO INC 1394MEL-HD DRIVE IEEE 1394 SBP2 Device (X:)を停止します]をクリックします。

下線部には、ハードディスクに割り当てられたドライブ名が表示されます。

ハードディスクに割り当てられているドライブ名が表示されます。

MELCO INC 1394MEL-HD DRIVE IEEE 1394 SBP2 Device - ドライブ(G:)を停止します
22:11

3 ［OK］ボタンをクリックします。

ハードウェアの取り外し
'MELCO INC 1394MEL-HD DRIVE IEEE 1394 SBP2 Device' は安全に取り外すことができます。
OK

4 ハードディスクを取り外します。

Macintosh

1 ハードディスク（本製品）のアクセスランプが消えていることを確認し、デスクトップにあるハードディスク（本製品）のアイコンをゴミ箱にドラッグアンドドロップします。

⚠注意 本製品に複数のパーティションを作成した場合は、すべてのパーティションのアイコンを、ゴミ箱にドラッグアンドドロップしてください。

2 ハードディスクを取り外します。

4 フォーマット

本製品をフォーマット（初期化）する方法を説明しています。

フォーマットするときの注意

● フォーマット中は、絶対にパソコンの電源スイッチをOFFにしたり、リセットしないでください。
ディスクが破損するなどの問題が発生します。また、以後の動作についても保証できません。ご注意ください。

● フォーマットすると、ハードディスク内にあるデータは失われます。フォーマットする前に、ハードディスクの使用環境をもう一度よく確認してください。
ハードディスクのフォーマットは、お客様ご自身の責任で行うものです。
誤って大切なデータやプログラムを削除しないように、フォーマットを実行するディスクが何台目のディスクか、パーティション名は何か必ず確認しておいてください。

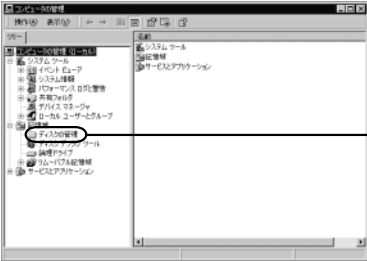
フォーマットのしかた

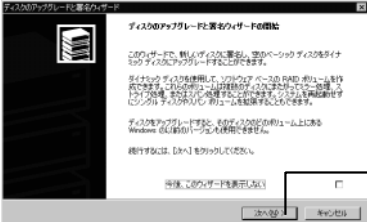
使用しているOSに応じて、次のページを参照してください。

・WindowsMe/98・・・・・・・・・・・・・・・・【P22】
・Windows2000・・・・・・・・・・・・・・・・・【P23】
・Macintosh・・・・・・・・・・・・・・・・・・【P28】

WindowsMe/98

本製品を使用する前に、「Disk Formatter」を使用してフォーマットします。

[スタート] ― [プログラム(P)] ― [MELCO DISK FORMATTER] ― [DISK FORMATTER] の順に選択すると、次の画面が表示されます。

⚠注意
- **フォーマットするドライブを間違えないでください。**
- **FAT16からFAT32に変換する場合は、本製品をもう一度FAT32でフォーマットしてください。OSに付属の「ドライブコンバータ」でFAT16からFAT32に変換すると、エラーが発生し、FAT32に変換できない場合があります。**

メモ
- 2047MBを超える容量を1つの領域として確保する場合は、[ファイルシステム]に[FAT32]を選択してください。[FAT16]では、1つの領域は最大2047MBとなります。
- USB接続時は、物理フォーマットを行わないでください。フォーマットが完了するまでに長時間(20GBあたり約7時間)かかります。
- Disk Formatterに関する詳細は、別冊「Disk Formatterソフトウェアマニュアル」を参照してください。

Windows2000

⚠注意
- **付属の「Disk Formatter」は使用しないでください。Disk FormatterはWindows2000には対応していません。**
- **Windows2000でパーティション(論理ドライブ)のファイルシステムにFAT32を使用する場合、1パーティションあたりの最大容量は32.7GBとなります。**
- **本製品は、ダイナミックディスクにアップグレードすることはできません。**

※ダイナミックディスクについては、Windows2000のヘルプを参照してください。

1 **デスクトップにある[マイ コンピュータ]アイコンをマウスの右ボタンでクリックします。**

2 **メニューが表示されたら[管理(G)]をクリックします。**

3

[ディスクの管理]をクリックします。

4 **本製品をWindows2000で初めて使用する場合は、次の画面が表示されます。**

[次へ(N)>] ボタンをクリックします。

次のページへ続く

5 署名するディスクを選択します。

① ディスクをクリックしてチェックマーク（✓）を付けます。（例：ディスク 1）

② ［次へ(N)>］ ボタンをクリックします。

6

［完了］ ボタンをクリックします。

7

未割り当て領域が作成されます。

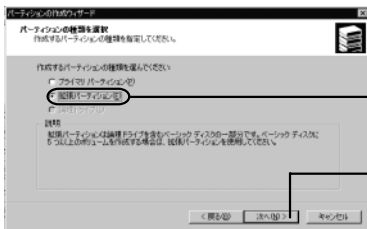
8

① 未割り当て領域をマウスの右ボタンでクリックします。

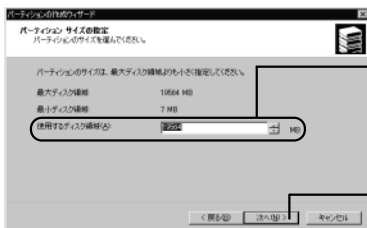
② メニューが表示されたら ［パーティションの作成(P)］ をクリックします。

9

［次へ(N)>］ ボタンをクリックします。

10

① ［拡張パーティション(E)］をクリックして（•）を付けます。

② ［次へ(N)>］　ボタンをクリックします。

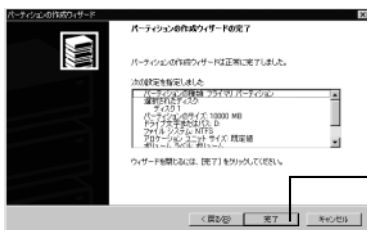
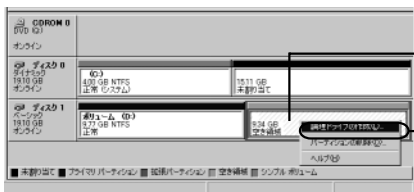
11

① ［使用するディスク領域(A)］　でサイズを指定します。

※ サイズを変更する必要がない場合は、初期設定のまま最大値で確保します。

② ［次へ(N)>］　ボタンをクリックします。

12

［完了］　ボタンをクリックします。

13

① 空き領域をマウスの右ボタンでクリックします。

② メニューが表示されたら［論理ドライブの作成(L)］をクリックします。

14

［次へ(N)>］　ボタンをクリックします。

次のページへ続く

15

① ［論理ドライブ(L)］ が選択されていることを確認します。

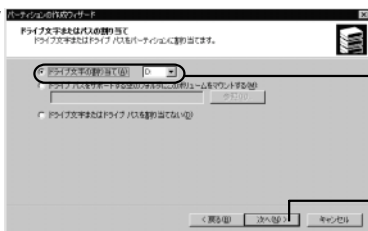
② ［次へ(N)>］ ボタンをクリックします。

16

① ［使用するディスク領域(A)］ でサイズを指定します。

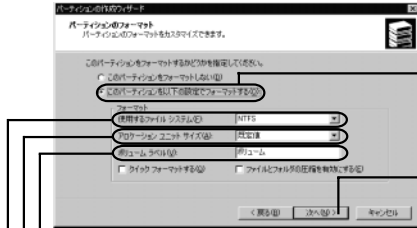
※ サイズを変更する必要がない場合は、初期設定のまま最大値で確保します。
ファイルシステムにFAT32を使用する場合は、32700MB(32.7GB)以下の値を指定してください。

② ［次へ(N)>］ ボタンをクリックします。

17

① ［ドライブ文字の割り当て(A)］ で割り当てるドライブ名を指定します。

※ 特に設定を変更する必要がなければ、初期設定のままにしてください。

② ［次へ(N)>］ ボタンをクリックします。

18 フォーマット方法などを設定します。

①［このパーティションを以下の設定でフォーマットする(O)］をクリックし、(・)を付けます。

②各項目を設定したら、［次へ(N)>］ボタンをクリックします。

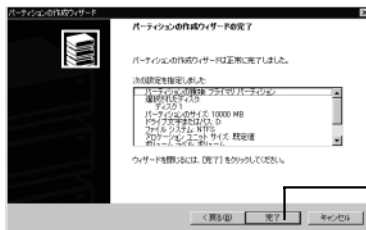
必要に応じて［ボリュームラベル(V)］を入力します。

［アロケーションユニットサイズ(A)］は特に問題のない限り、初期設定のまま使用します。

必要に応じて［使用するファイルシステム(F)］を変更します。（※）

※ Windows2000だけで本製品を使用する場合や、32.7GB以上の容量のパーティションを作成する場合は、[NTFS]を選択してください。
マルチブート環境などで他のOSからアクセスするパーティションの場合は、[FAT]を選択してください。
ファイルシステムに関する詳細は、Windows2000のヘルプを参照してください。

⚠注意 **本製品を初めてフォーマットするとき（本製品にパーティションが1つも存在しないとき）は、［クイックフォーマットする(Q)］にチェックマーク（✓）を付けないでください。チェックマーク（✓）を付けると、フォーマットが正常に終了しません。**

19

［完了］ボタンをクリックします。

フォーマットが始まり、進行状況が%表示されます。

メモ フォーマットを中止する場合は、フォーマット中のパーティションをマウスの右ボタンでクリックし、表示されたメニューの中の［フォーマットの中止(F)］をクリックします。

20

フォーマットが正常に終了すると、ボリュームラベルとパーティションに加えて、「正常」と表示されます。

4
フォーマット

次のページへ続く

「ボリュームは開かれているか、 または使用中です。 要求を完了できません。」 というメッセージが表示された場合

パーティションは作成されていますが、フォーマットは完了していません。[OK] ボタンをクリックし、作成したパーティションを次の手順でフォーマットしてください。

1. 作成したパーティションを右クリックして ［フォーマット(F)］ を選択します。
2. 必要に応じてボリュームラベルやファイルシステムを設定し、 ［次へ(N)>］ ボタンをクリックします。

   注意 ［クイックフォーマットする(Q)］ にチェックマーク (✓) を付けると、クイックフォーマットを行います。 フォーマット時間が短縮されます。

3. 以降は画面のメッセージに従って操作します。

以上でフォーマットは完了です。

メモ 本製品を複数の領域に分割して使用するときは、 手順 16 でサイズを指定し、以下手順 20 までを作成する数だけ繰り返します。

Macintosh

付属ソフトウェア 「USB Strage Utility」 または 「Disk Drive TuneUp-SE」 を使って、 ハードディスクをフォーマットします。

使用するユーティリティは、本製品の接続方法によって異なります。必要なソフトウェアを事前にインストールしておいてください。【P12 「Macintosh でのセットアップ手順」】

- **USB 接続の場合 .... USB Strage Utility を使用します 。【P28「USB Strage Utility の使い方 （USB 接続時）」】**
- **IEEE1394 接続の場合 .... Disk Drive TuneUp-SE を使用します。【P31「Disk Drive TuneUp-SE の使い方 （IEEE1394 接続時）」】**

USB Storage Utility の使い方 （USB 接続時）

注意

- **パーティションの作成 （※） やフォーマットをすると、ハードディスク内のすべてのデータが消去されます。 必要なデータは事前に他のメディアにバックアップしておいてください。※既存のパーティションを作成し直す場合も含みます。**
- **ハードディスクをフォーマットするときは、弊社製の USB 接続ハードディスク /MO ドライブをパソコンに 2 台以上接続しないでください。 2 台以上接続すると、起動時にエラーメッセージが表示され、フォーマットできません。**
- **USB Storage Utility の起動中は、ハードディスクの接続や取り外しを行わないでください。ハードディスクが正常に認識されないことがあります。**
- **［再検索］、［取り出し］ ボタンは使用しません。**

1 ［MELCO HDD Utility］ フォルダをダブルクリックします。

2 ［USB Storage Utility］ アイコンをダブルクリックします。

USB Storage Utility が起動します。

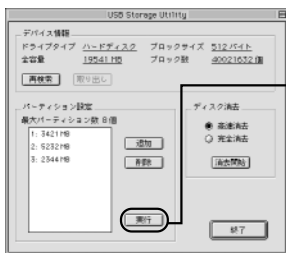
3

［追加］ ボタンをクリックします。

4

① パーティションのサイズを入力します。

② ［設定］ ボタンをクリックします。

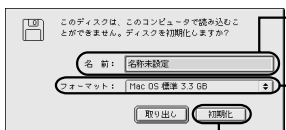
5

① 手順3、4を繰り返し、作成するパーティションをすべて設定します。

② ［実行］ ボタンをクリックします。

メモ 一度設定したパーティションを削除するときは、削除したいパーティションをクリックして反転表示にし、[削除]ボタンをクリックします。

6 「注意!! 現在記録されているデータは完全に失われます。 続行してもよろしいですか?」 と表示されたら、 ［はい］ ボタンをクリックします。

7 「パーティション設定終了!! パーティションの初期化終了後に使用可能となります。パーティションの初期化を実行しますか?」 と表示されたら、 ［はい］ ボタンをクリックします。

8

① パーティションの ［名前］ を入力します。

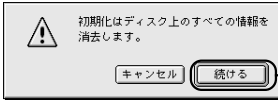
② ［フォーマット］ を選びます。
※本製品はDOS形式ではフォーマットできません。

③ ［初期化］ ボタンをクリックします。

4 フォーマット

次のページへ続く

9

初期化はディスク上のすべての情報を消去します。
キャンセル　続ける

［続ける］　ボタンをクリックします。

10 **作成したパーティションの数と同じ回数、手順 8、9 を繰り返します。**

以上でフォーマットは完了です。

ディスク消去機能

USB Storage Utility のディスク消去機能を使うと、ハードディスク内のデータ（パーティション）をすべて消去できます。

メモ　既存のパーティションを残したままパーティション内のデータをすべて消去するときは、MacOS のフォーマット機能を使用してください。

1 **USB Storage Utilityを起動します。**

2 **[高速消去]を選び、[消去開始]ボタンをクリックします。**

注意　通常[完全消去]は選ばないでください。消去が完了するまでに長時間かかります。

3 **「注意!!現在記録されているデータは完全に失われます。続行してもよろしいですか?」と表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。**

完全消去中は経過時間（分、秒）が表示されます。

4 **「消去終了!!パーティション設定 / 初期化終了後に使用可能となります。」と表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。**

Disk Drive TuneUp-SE の使い方 （IEEE1394 接続時）

⚠注意 **本製品を使用するときは、次の注意事項を必ず守ってください。注意事項を守らないと、Disk Drive TuneUp-SE が正常に動作しない場合があります。**

- **Disk Drive TuneUp-SE にはオンラインヘルプが付属しています。Disk Drive TuneUp-SE の詳しい操作方法は、オンラインヘルプを参照してください。オンラインヘルプを読むには、Disk Drive TuneUp-SE 起動後に【アップルメニュー】－［ヘルプ・・・］を選択してください。**
- **Disk Drive TuneUp-SE を起動する前に、他のアプリケーションを終了してください。Disk Drive TuneUp-SE 動作中は、他のアプリケーションを起動したり、ファイルのコピーなどの操作をしないでください。**
- **初期化するハードディスクは、Disk Drive TuneUp-SE を起動する前に接続してください。Disk Drive TuneUP-SE 動作中は、ハードディスクの抜き差しをしないでください。**
- **MacOS の初期化機能は使用しないでください。初期化画面が自動的に起動した場合は、「取り出し」を押して終了させてください。**
- **FireWire/USB 接続ハードディスクを起動ディスクとして使用することはできません。接続後、【アップルメニュー】－［コントロールパネル］－［起動ディスク］を選択したときに、本製品の名称が表示されますが、起動ディスクには設定しないでください。**
- **USB 接続時に本製品を物理フォーマットする場合、1GB あたり 30 分程度の時間がかかります。**
- **USB Strage Utilityでパーティションを作成したハードディスクは、Disk Drive TuneUp-SE でパーティション情報が正しく表示されません。**
- **Power Macintosh G3 で Mac OS 8.6 を使用している場合、本製品をフォーマットできないことがあります。この場合は、Power Macintosh G3 のファームウェアをアップデートしてください。ファームウェアをアップデートするには、アップルコンピュータ社の下記ホームページからアップデートファイルをダウンロードする必要があります。アップデート方法は、アップデートファイルに含まれる「G3 Firmware Update について」を参照してください。**

http://www.apple.co.jp/ftp-info/reference/g3_firmware_update-j.html

※ **インターネットに接続する環境がない場合は、アップルコンピュータ社のサポートセンターにお問い合わせください。**

※ **Mac OS9をもっている場合は、Mac OS9の「システムソフトウェアCD-ROM」を使って、ファームウェアをアップデートできます。アップデート方法は、Mac OS9 のマニュアルを参照してください。**

1　周辺機器→パソコンの順に電源スイッチを ON にします。

2　ハードディスクをフォーマットする場合は、パソコンにハードディスクを接続します。

⚠注意 **未フォーマットの本製品をフォーマットする場合は、パソコンに接続したときにMacOSの初期化画面が起動します。この場合は、［取り出し］ボタンをクリックして、初期化画面を終了してください。**

次のページへ続く

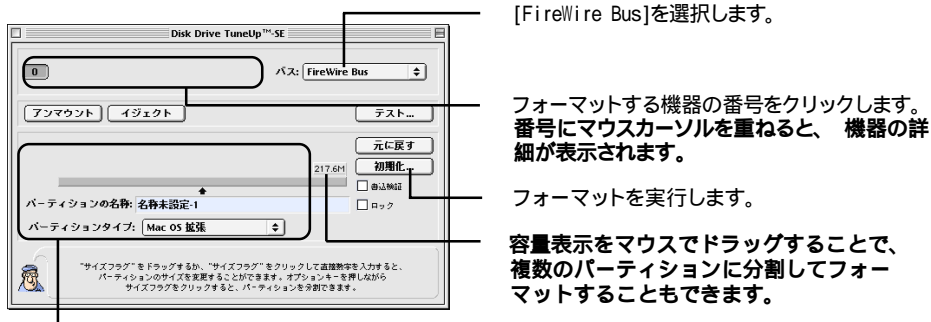
3 Disk Drive TuneUp-SEをインストールしたフォルダを開き、フォルダ内の［Disk Drive TuneUp-SE］アイコンをダブルクリックします。

Disk Drive TuneUp-SEが起動します。

①[FireWire Bus]を選択します。

②フォーマットする機器の番号をクリックします。
※ 番号にマウスカーソルを重ねると、機器の詳細が表示されます。

④フォーマットを実行します。

※容量表示をマウスでドラッグすることで、複数のパーティションに分割してフォーマットすることもできます。

③パーティションタイプ（フォーマット形式）を選択します。

[Mac OS 標準](HFS)： Mac OS8.1より前のシステムでも使用できます。
[Mac OS 拡張](HFS+)： HFSより効率の良いファイル管理ができる形式です。Mac OS8.1より前のシステムでは使用できません。
[空き領域]： パーティション（領域）を未使用の状態にします。
[DOS]： 本製品では使用することができません。

⚠注意 フォーマットするにはパーティションタイプを変更する必要があります。パーティションタイプを変更せずにフォーマットすることはできません。同一のフォーマット形式でメディアをフォーマットし直すには、一度パーティション（領域）を空き領域（未使用の状態）にしてからフォーマットする必要があります（例：Mac OS 標準→空き領域 → Mac OS 標準）。

以上でフォーマットは完了です。

その他の機能

Disk Drive TuneUp-SEが持つその他の機能について説明します。

- **マウント／アンマウント**
  ［マウント］／［アンマウント］ボタンをクリックすることで、ディスクをマウント／アンマウントできます。
- **ディスクの検査**
  ディスクに不良ブロックがないか検査できます。検査したいディスクをマウントして、［テスト］ボタンをクリックしてください。
- **ロック（書き込み禁止）**
  指定したパーティションにロックをかけることができます。［ロック］チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けてください。未フォーマットのパーティションを指定した場合、チェックボックスはグレー色に表示され、ロックすることはできません。

Disk Drive TuneUp-SEのサポートについて

● お問い合わせ先

Disk Drive TuneUp-SE（ディスク ドライブ チューンアップ エスイー）の技術サポートは、ソフトウェア・アーキテクツ・インクが承ります。

※ 事前に次の項目を確認しておいてください。

- Disk Drive TuneUp-SEのバージョン
- 使用しているコンピュータ名・OS
- 現象（具体的なエラーメッセージなど）

※ 株式会社メルコでは、Disk Drive TuneUp-SEに関するお問い合わせにはお答えしかねます。あらかじめご了承ください。

ソフトウェア・アーキテクツ・インク
東京都渋谷区笹塚 1-52-18 ルアンビル5階
FAX : 03-5304-5692
E-mail : support@softarch.com
電話 : 03-5304-5690（平日 9:00～17:00）

※ できるだけ、FAXまたはE-mailにてお問い合わせください。

● ユーザー登録

必ずDisk Drive TuneUP-SEのユーザー登録を行ってください。ユーザー登録には2通りの方法があります。

※株式会社メルコ宛のユーザー登録はがきでは、Disk Drive TuneUp-SEのユーザー登録は行われません。

<郵便>
ユーザー登録カード（ソフトウェア・アーキテクツ・インク）に必要事項を記入の上、ご返送ください。

<インターネット>
インターネットで登録するためのhtmlファイルが、付属のDisk Drive TuneUp-SE CD-ROMの[登録方法]フォルダに収録されています。htmlファイルをWEBブラウザで開き、必要事項を記入欄に入力していただいた上で、［今登録する］ボタンをクリックしてください。

5 付録

バックアップ

バックアップの必要性

ハードディスクに蓄えられた重要なデータを保護するために、外部のメディアにデータの複製を作成することを「バックアップ」といいます。大容量ハードディスクには、日々大量のデータが格納されます。事故や人為的なミスなど不測の事態でデータを失うことは、業務上大きな損失となります。

⚠注意 **ハードディスクを使用する場合は、日常的にバックアップを作成してください。**

バックアップ用のメディア

バックアップ用のメディアには次のようなものがあります。

- フロッピーディスク
- 光磁気ディスク（MO）
- 増設ハードディスク
- ネットワーク（LAN）サーバ
- CD-R/RW
- DVD-RAM

大容量ハードディスクのバックアップ先としてフロッピーディスクを選んだ場合、大量のフロッピーディスクが必要になります。また時間もかかるため、効率的な手段とはいえません。可能な限りMOなど容量の大きいメディアにバックアップすることをおすすめします。

増設ハードディスクにバックアップする場合は、そのハードディスクをバックアップ専用にすることをおすすめします。

メモ Windows98付属のバックアップツールを使って、MOにデータをバックアップする場合、バックアップするファイル容量の合計がMOディスクの空き容量を超えないようにしてください（Windows98付属のバックアップツールの仕様です）。バックアップするときは必要なファイルだけを選択し、MOディスクの空き容量に納まるようにしてください。

バックアップデータの復元（リストア）

バックアップデータを元のハードディスクに復元することをリストアといいます。

リストアコマンド／ツールは、一般的にバックアップコマンド／ツールで指定されたもの以外は使用できません。マニュアルなどで確認して使用してください。

メンテナンス

Windows付属のツールを使用したハードディスクのメンテナンスについて説明します。

ハードディスクのエラーチェック（スキャンディスク）

Windowsには、ハードディスクのエラー（異常）をチェックするためのツールが付属しています。このツールはエラーを修復することもできます。ハードディスクを安全に使用するために、ハードディスクを定期的にチェックすることをおすすめします。

メモ
- エラーのチェック方法は、Windowsのヘルプやマニュアルを参照してください。
- Macintoshには、ハードディスクのエラーをチェックするためのツールは付属していません。ディスクのチェックには、市販のユーティリティを使用してください。

ハードディスクの最適化（デフラグ）

ハードディスクを長期間使用してファイルの書き込みや削除を繰り返していると、ファイルが分断されてディスクのあちらこちらに散らばってしまいます。これを断片化（フラグメンテーション）といいます。断片化されたファイルは、読み書きする際にディスクのあちらこちらにアクセスしなくてはいけないため、時間がかかっています。

このように散らばってしまったファイルをきれいに並べなおすことを、最適化（デフラグメンテーション）といいます。ハードディスクを最適化すると、ディスクアクセスの速度が改善されます。

Windowsには、断片化したハードディスクを最適化するためのツールが付属しています。ハードディスクを快適に使用するために、定期的にハードディスクを最適化することをおすすめします。

メモ
- 最適化の方法は、Windowsのヘルプやマニュアルを参照してください。
- Macintoshには、ハードディスクを最適化するためのツールは付属していません。ディスクの最適化には、市販のユーティリティを使用してください。

特定のソフトウェアが使用できない場合

パソコン標準搭載のハードディスクを対象にしたソフトウェア（※）上で、本製品を使用できないことがあります。
その場合は、パソコンに標準搭載のハードディスクを使用するか、他のソフトウェアを使用してください。

※ ソフトウェアの仕様はソフトウェアメーカ（プリインストールソフトではパソコンメーカの場合があります）にご確認ください。

Disk Formatter のアンインストール（WindowsMe/98）

付属ソフト「Disk Formatter」が不要になったときは、以下を参照してアンインストールしてください。

⚠注意 WindowsMe/98 から Windows2000 へアップグレードするときは、必ず事前に Disk Formatter をアンインストールしてください。

1 ［スタート］－［プログラム(P)］－［MELCO DISK FORMATTER］－［アンインストーラ］の順に選択します。

2 以降は画面の指示に従って操作します。

以上で Disk Formatter のアンインストールは完了です。

Macintosh 用 USB ドライバのアンインストール

Macintosh 用 USB ドライバは、次の手順ですべて削除できます。

1 付属のCD-ROM「DiU-GTHシリーズユーティリティ CD」をCD-ROMドライブにセットします。

2 CD-ROM 内の［USB Utility Installer］アイコンをダブルクリックします。

3 「DiU-GTH シリーズユーティリティインストーラー処理を選択してください。」というメッセージが表示されたら、［アンインストール］ボタンをクリックします。

4 「アンインストール完了後に再起動しますがよろしいですか。」というメッセージが表示されたら、［はい］ボタンをクリックします。

アンインストールが実行されます。

5 「アンインストールに成功しました」というメッセージが表示されたら、［再起動］ボタンをクリックします。

パソコンが再起動します。

以上でドライバのアンインストールは完了です。

仕様

※ 最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（http://www.melcoinc.co.jp/）を参照してください。

<table>
<tr><td colspan="2">製品型番</td><td>DiU-GT40GH</td><td>DiU-GT60GH</td><td>DiU-GT80GH</td></tr>
<tr><td colspan="2">インターフェース</td><td colspan="3">USB / IEEE1394</td></tr>
<tr><td colspan="2">準拠規格</td><td colspan="3">USB Specification Rev.1.1
IEEE1394</td></tr>
<tr><td colspan="2">コネクタ</td><td colspan="3">PCポート　：USBコネクタ シリーズ B
HUBポート　：USBコネクタ シリーズ A
IEEE1394　：1394コネクタ 6ピン × 2</td></tr>
<tr><td colspan="2">ディスク容量（※1）</td><td>40GB</td><td>60GB</td><td>80GB</td></tr>
<tr><td colspan="2">セクタ容量</td><td colspan="3">512byte</td></tr>
<tr><td colspan="2">シークタイム</td><td colspan="3">最大11msec</td></tr>
<tr><td colspan="2">最大転送速度</td><td colspan="3">12Mbps(USB) / 400Mbps(IEEE1394)</td></tr>
<tr><td colspan="2">外形寸法</td><td colspan="3">44(W)×120(H)×216(D)mm（突起物含まず）</td></tr>
<tr><td colspan="2">消費電力</td><td colspan="3">最大17W</td></tr>
<tr><td colspan="2">電源</td><td colspan="3">AC100V 50/60Hz</td></tr>
<tr><td rowspan="2">動作環境</td><td>温度</td><td colspan="3">5～35℃</td></tr>
<tr><td>湿度</td><td colspan="3">20～80%（結露なきこと）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">対応機種</td><td rowspan="2">USB接続時</td><td colspan="3">USBコネクタを標準搭載する次のパソコン
・ DOS/V機（OADG仕様）
・ NEC PC98-NXシリーズ
・ Apple PowerMac G4シリーズ、PowerMac G4 Cube、Power Macintosh G3シリーズ、Power Book G4/G3シリーズ、iMacシリーズ、iBookシリーズ</td></tr>
<tr><td colspan="3">弊社製USBボード（別売）を搭載したDOS/V機（OADG仕様）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">IEEE1394接続時</td><td colspan="3">IEEE1394 コネクタを標準搭載する次のパソコン
・ DOS/V機（OADG仕様）
・ NEC PC98-NXシリーズ
・ Apple PowerMac G4シリーズ、PowerMac G4 Cube、PowerMacintosh G3シリーズ、Power Book G4/G3シリーズ、iMacシリーズ、iBookシリーズ</td></tr>
<tr><td colspan="3">弊社製IEEE1394インターフェース（別売）を搭載したDOS/V機（OADG仕様）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">対応OS</td><td>DOS/V機
PC98-NXシリーズ</td><td colspan="3">WindowsMe/98/98Second Edition/2000
(Windows98はUSB接続のみ対応)</td></tr>
<tr><td>Macintosh</td><td colspan="3">Mac OS 8.6～9.1</td></tr>
</table>

※ 1 記載のディスク容量は、1GB=1000^{3}byte で計算しています。OS やアプリケーションでは、1GB=1024^{3}byte で計算されているため、表示されている容量が異なります。